３１．松本・千国街道及び東回り古道

選定箇所：松本・千国街道―大野～大網峠（新潟県糸魚川市※１）、松沢～沓掛（長野県白馬村～小谷村）、角間池下～大網峠～横川吊り橋～大網宿、大網にかい、葛葉峠、猫鼻～湯原～天神道～塩坂～島、沢入、石坂～池原～下里瀬、下里瀬～虫尾、虫尾～和平～雨中、三夜坂、千国宿横水、親坂～沓掛（長野県小谷村）、落倉～切久保 おかるの穴、切久保～新田（観音原付近）、佐野坂（白馬村）、佐野坂～エビスマ原、青木～中網、西海ノ口（大町市）、養老坂（松本市）、東回り古道―戸土～角間池～粟峠～横川、鳥越峠越え、長者平～大峠～地蔵峠入口、深原～埋橋～中谷、長崎～大峯～土谷（小谷村）

概要：越後の糸魚川と信濃の松本を結ぶ街道で、日本海側からは海産物が、信濃側からは農作物が運ばれた。特に「塩の道」として古くから利用され、戦国時代には「敵に塩を送る」の故事を生んだ重要な道であった。東回り古道は古代の官道の峠を意味する「三坂峠」などがあり、畿内から北陸道を経由し信州へ入ってくる重要な道で、近世以降は主街道の迂回路として大きな役割を果たした。

※１【糸魚川市】根知地区の県境は非常に険しい。本格的な登山装備が必要。地図の携帯は必須。携帯電話が通じないこともある。遭難の恐れあり。

東回り古道　高町越（写真提供：小谷村教育委員会）

松本街道大野地区（中山峠）（糸魚川市）